

震災・医学・医療に関連する商業紙報道の見出し・概要（平成23年10月1日～10月31日）

東日本大震災

		新聞	掲載面	掲載日
災害廃棄物	東北大教授が東日本大震災で発生したがれきなどの災害廃棄物処理について基調講演をした。教授は仙台市の事例を挙げ、1次段階での分別が時間短縮につながったこともあると説明した。適正分別は焼却量低減に向け今後も課題であると言う。	千日	7面	10.27
放射線	千葉県船橋市は市立法典西小学校敷地内で最大毎時0.59マイクロシーベルトが検出された。	千日	19面	10.23
放射線	林野庁は福島県内のスギ花粉に放射性物質がどれだけ含有されているかを調査することを決めた。ただ、東邦大や放医研、環境科学技術研究所の専門家らは人が吸引する花粉は微量のため心配するほどの影響はないと言う。	読売	38面	10.21
放射線	文科省は原発から約20～80キロ圏内を中心に河川の水と井戸水のどちらともセシウム濃度は国の暫定規制値を大幅に下回ったと報告した。井戸水のストロンチウムも事故前の濃度範囲内だった。	読売	38面	10.21
原発	千葉大学で原発問題を考える市民のつどいが開かれた。市内外から約180人が参加し、1．原発即停止、2．原発段階的廃止、3．原発廃止検討、4．原発推進の4つの立場から意見を表明した。	千日	7面	10.16

官公庁

産学連携	経産省が東北地方の大学が行う産学連携に200億円を拠出する方針であることが分かった。経産省は3年間にわたり複数の研究開発に資金提供する考えを示した。	千日	2面	10.24
高額医療費	厚労省は高額医療費の膨張で制度の見直しに入った。特に高額な関節リウマチ（患者約34万人）や乳がん（患者約18万人）の治療薬などであり、財源の枯渇から患者に一律100円を窓口負担してもらう方針を固めた。	読売	2面	10.13
混合診療	最高裁は、混合診療の診察料に関して患者側の全額負担が妥当との判決を出した。	千日	19面	10.26

大学・教育施策

新設	大学設置・学校法人審議会は亀田医療大を含めた7校の新設を文科省に答申した。	千日	19面	10.25
新設	経産省は福島に難治性がんの治療拠点を整備する方針を固めた。福島を世界最先端の医療拠点にすることで復興を後押しする。	読売	2面	10.17
放射線	文科省は小中高に放射線に関する副読本を発表した。事故や事故対応に関する記載より基礎知識を習得することを重視した内容となった。中学校では30年間放射線を教えてこなかったために、現場では戸惑いが隠せない。	読売	3面	10.15
震災ストレス調査	岩手県教育委員会は県内全ての公立小中高生計14万人の災害によるストレス調査を始めた。調査は2018年度まで継続され、時間が経過してからも発症するPTSDなどに対応する予定だ。結果はデータベース化される。	読売	35面	10.15

被災高校生限定入試	岩手大工学部は被災した高校生を対象に特別選抜を実施する。文科省によると被災者限定選抜を行う国公立大学法人は初めてだという。	読売	38面	10.21
留学	文科省は外国人学生を2週間ほど無料招待し、東日本大震災の被災地等を訪問する「お試し留学」を年度内に実施する方針を固めた。招待する学生は150人程度を予定している。	読売	夕・2面	10.12
女性大学教員	日本学術会議によると2010年国公立大学733校（回答461校）で女性教員の比率は18.5%であった。ただ、教授ポストは11.4%だったのに対し助教は22.1%で低い職位ほど女性が多かった。	読売	19面	10.16

病院の経営

臨床研修	岩手、宮城、福島に決まった臨床研修生が減少したことが厚労省調べで分かった。震災や原発の影響と厚労省は推測する。一方、千葉は8人増の300人であった。	千日	19面	10.28
医師団派遣	NPO法人TMA Tの医師と看護師ら5人がトルコ東部大震災の被災地で救援活動に取り組むため現地に向かった。	千日	3面	10.26
病床不足	千葉県の回復期リハビリテーションの病床数が人口10万あたり27床と、全国平均の6割以下であることが分かった。特に少ない地域は君津0床、印旛6床であった。	千日	1面	10.19
医師不足	千葉県の2010年10月の常勤医は昨年より2.2%増加したものの、人口10万人あたりの人数は全国ワースト2位となった。	千日	1面	10.7
黒字経営	2009年黒字転換した病院事業は医師確保による診療体制充実なので2010年度は27億の黒字を計上した。但し、赤字事業体が20事業体中6事業体あり、経営改善状況に格差が見られる。	千日	1面	10.18
ドクターヘリ	日本航空医療学会により千葉県のドクターヘリの2010年度の全国出動件数は9452件で昨年より増加したことが分かった。要請手順を改善したことで即対応できたことが増加に繋がったと推測する。	千日	21面	10.4

再生医療

iPS	英ウェルカムトラストサンガ 研究所の日本人研究員らが遺伝子に異常がある患者からiPS細胞作製に成功し、英科学紙ネイチャーに発表した。研究チームは肝臓や肺の疾患をもつ患者に着目し、肝臓で正常につくられない「1アンチロプシン」をiPS細胞から作成し、遺伝子治療で取り換えることに成功した。	読売	2面	10.13
-----	--	----	----	-------

産科・小児科

子宮がんワクチン	米疾病対策センターが子宮頸がんワクチンがのどなどのがんに対する予防効果があるとして、11～12歳の男子にも定期接種する対象にすべきだとの見解をまとめた。	千日	3面	10.27
RSウイルス	千葉県疾病対策課によるとRSウイルス感染者が10月9日までの1週間で0.56人（定点）に上り、前週より1.8倍となった。例年に比べ流行の兆しが早いことが分かった。	千日	1面	10.2

ポリオワクチン	厚労省によるとポリオ生ワクチンの接種が18%減ったことが分かった。生ワクチンより安全性の高い不活化ワクチンを待つ動きが広がっている。	読売	15面	10.16
ポリオワクチン	不活化ワクチンを求める動きが千葉県内でも広がっている。成田市なのはなクリニックでは1本6千円程度×4回でフランス製不活化ワクチンを提供したところ、開始から900人以上が押し寄せた。	千日	21面	10.27

治療・治療薬

B型肝炎	B型肝炎ウイルスの感染歴がある人が免疫抑制薬や抗がん剤などの治療を受けると、ウイルスが再活性化することが問題になっている。感染を治療した人でも微量のウイルスが肝臓に残るため、他の疾病治療中に体内の免疫が低下し、ウイルスが再活性化する事例（2004～2009年18名が劇症肝炎で死亡）が挙がってきている。	読売	17面	10.3
------	---	----	-----	------

情報科学

ゲノム解読	韓国、中国、米国、デンマークの共同研究でハダカネズミのゲノム解読に成功したことを英科学誌ネイチャーで発表した。ハダカネズミの平均寿命は28年でマウスの約10倍であり、ゲノムから老化を防ぐ遺伝子などが見つかっている。	読売	38面	10.13
-------	---	----	-----	-------

遺伝子・医工学

脳の遺伝子組み換え	英エディンバラ大学や理化学研究所などによる国際チームが脳細胞では遺伝子組み換えが高頻度に起こり、ゲノムが細胞ごとに異なることを発見した。チームは英科学誌ネイチャーに発表した。	読売	2面	10.31
体節	JT生命誌研究館、京都大、理研のチームが体節形成の現象をオオヒメグモで解明し、英科学誌ネイチャーコミュニケーションズ電子版に発表した。オオヒメグモの卵の中では遺伝子「ヘッジホッグ」の働く際にできる波が体節の形成に関わっていた。	千日	19面	10.12

読者投稿

大学教育	原発事故により原子力研究を行う科学者への「意図への信頼」が欠如してしまった。事故後の市民への説明は不十分であったことから、原子力研究には原子力の専門家だけでなく医学や法学など様々な分野の研究者の参加が必要であった。他の研究・学問でも全体を見渡す視力が不可欠になってきている。（大阪大前学長）	千日	5面	10.10
------	---	----	----	-------

ミス・事件・訴訟

イレッサ訴訟	大阪訴訟の2審で原告側は和解を含めた早期の全面解決を求めた。	千日	21面	10.28
サイバー攻撃	中央省庁のうち、共同通信社の取材に応じた19省庁のうち18省庁で何らかのサイバー攻撃を受けていたことが判明した。攻撃手段としてはウイルス入りメールによるものであった。	千日	20面	10.27

院内感染	千葉県松戸市立病院が多剤耐性緑膿菌の感染により、患者3人が死亡したと発表した。感染場はICUで、感染経路は医療従事者の衣服や手などからと推測している。現在のところ亡くなった3人以外への感染は確認されていない。	千日	21面	10.26
京大脳死移植	京都大病院で山梨県の60歳代男性の脳死から肺移植を受けた40歳代女性が意識不明になっていることが分かった。同病院では2006年3月にも脳死肺移植で30歳代女性が意識不明となり2006年10月に死亡したため、2009年4月まで脳死肺移植を自粛していた。	読売	夕・12面	10.18
京大脳死移植	京都大病院は記者会見を開き、40歳代の女性の手術は手術後に酸素供給のために装着した人工心肺装置に空気が入り、安全装置が作動、4分間停止したという。同病院は人為的な問題は認識していないとしており、外部調査委員会を設けて原因を探る構えであることを説明した。	読売	38面	10.19
ポリオワクチン	神奈川県が独自に不活化ワクチンを輸入して希望者に接種する方針を固めたことについて、厚労省相は未承認ワクチンには健康被害の救済制度がないこと、ワクチン接種を控える市民が増えることなどを挙げ、神奈川県の方針を批判した。神奈川県知事は危険だと分かっている生ワクチンを県民に勧められないと反論した。	読売	37面	10.19
世田谷放射線	東京都世田谷区の住宅の床下からラジウム226の入った瓶が発見された件で、文科省は原発事故との因果関係を否定した。	読売	3面	10.15
千葉市入院患者やけど事件	千葉県千葉市青葉病院で2008年、当時79歳の女性が55～56度の湯に入浴した際、重度のやけどを負い死亡した。女性の遺族らは看護師サイドの注意不足を主張し、提訴した。判決では市に約1900万円の支払いを命じた。	読売	33面	10.15
医師法違反	静岡県でニセ診療内科医が逮捕された。容疑者は医師免許がないままクリニックを開業し、診察や地元での講演会を行っていた。	読売	39面	10.13

HP・サイト

放射線	文科省放射線マップ http://ramap.jaea.go.jp	読売	35面	10.19
がん診療連携拠点病院	国立がん研究センターがん情報サービス http://ganjoho.jp	読売	15面	10.16

朝日新聞・毎日新聞 記事見出し一覧

東日本大震災	被災で転校2.5万人：福島から1万人超：文科省集計	朝日	38面	10.14
東日本大震災	宮城沖「震源になりやすい」：東北大教授ら地下構造を解析	朝日	37面	10.13
官公庁	[高額医療費]窓口負担案に猛反発：医師ら「制度揺るがす」	朝日	5面	10.13
大学・教育施策	来春、城西国際大に看護学部開設：地元就職を：奨学金攻撃	朝日	29面	10.18

病院経営	専門医見直しへ：第三者機関設置：認定に2段階：厚労省検討会 質の担保狙う	朝日	6面	10.14
再生医療	iPS細胞遺伝病治療にも有効か：遺伝子異常修復 細胞正常化	朝日	38面	10.13
産科・小児科	ポリオワクチン：国vs神奈川：予防接種率低下に懸念	朝日	3面	10.22
治療・治療薬	子ども専用の薬作ろう：大人用加工、品質に課題：27機関、共同治験へ	朝日	夕・1面	10.18
臓器移植	脳死の少年の肝臓：子2人に分割移植：国内初成功	朝日	37面	10.20
臓器移植	腎臓提供者の意思確認時：移植患者が同席3割	朝日	夕・12面	10.12
情報科学	小児がん記録生涯保存：クラウド活用：成人後の治療に生かす：内閣府が方針	朝日	夕・25面	10.25
遺伝子・医工学	第3の万能細胞「作製成功」：ヒトの卵子と皮膚細胞使い：米チーム	朝日	1面	10.6
遺伝子・医工学	福山型筋ジス治療に道：神戸大、発症の仕組み解明	朝日	夕・12面	10.6
ミス・事件・訴訟	医療ミスの処方：厳格化機能せず：厚労省独自調査に限界	朝日	5面	10.13
ミス・事件・訴訟	検査せず中皮腫否定：環境省「書類に誤記」	朝日	39面	10.14
医学・医療一般	免疫研究にノーベル医学生理学賞：感染症・がん治療に貢献	朝日	38面	10.4
医学・医療一般	ノーベル化学賞にイスラエル人：固体の新たな形を発見	朝日	38面	10.6

凡例 1. 信毎：信濃毎日新聞 千日：千葉日報 長日：長野日報 山日：山梨日日 なのはな：なのはな同窓会報 河北：河北新報 夕：夕刊(その他の無記載は朝刊ないし日刊) 2. 著作権上、新聞記事の見出しと異なる見出しの場合は、印の後に記載しております。 3. 掲載見出しに補足した場合、補足部分を[]で記載しております。 4. 読売新聞、産経新聞の見出しは著作権等があり掲載記事の見出しとは異なるように配慮しております。 5. 日本経済新聞、秋田さきがけ、河北新報の記事は著作権等があり掲載しておりません。 6. 同一記事が複数の新聞で報道されている場合、可能な限り、最も詳しい内容ないしは早い日付で報道されたものを掲載するようにしております。また、著作権を問題としない商業紙を優先し掲載しております。 7. 図書紹介は、単なる広告ではなく、読後の解説評論があるものを掲載してあります。 8. 編集用の商業紙記事は、IT事業予算や編集者の努力の関係で集積しておりますので、全記事を網羅しておりません。御容赦ください。読売新聞が朝刊と時に夕刊、その他の新聞は、購入可能な際入手しての記事のピックアップです。